

事務事業 No./名 称	■サービス部門 □支 援 部 門 都調-01 都市調整運営事務										
主管課	都市調整課				関連課		開発審査課、建築指導課、土地利用調整課、まちづくり政策課等				
分野名	住宅・環境										
目標 (目標値)	計画的な土地利用によるまちづくりの推進のため。										
人口等のデータ	データ区分	25年度			24年度			23年度			備 考
	人 口	177,895人			177,224人			177,204人			・各年4月1日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	80,295世帯			79,669世帯			79,217世帯			
	事業の対象者数										
運営資源状況	決算値(千円)	5,711			6,207			5,552			
	(国・県)										
	(負担金等)										
	(一般財源)	5,711			6,207			5,552			
	人員配置数	8.0人			7.0人			7.0人			
	人 件 費(千円)	60,271			55,886			59,150			
	協働のパートナー										
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	65,982			62,093			64,702			
	市民1人当りの経費(円)	339			350			365			
	対象者1人当りの経費(円)										
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒										
指 標	評価	年度	22年度		23年度		24年度		25年度		最終年度(27年度)
		目標値									
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値									

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
都市調整運営事務	5,711	都市調整運営事務	6,027	今後の 方向性	B	理由 ・手法	鎌倉市開発事業における手続き及び基準等に関する条例の適正な運用の徹底を図る。
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	平成24年4月1日に施行した改正後の鎌倉市開発事業における手続き及び基準等に関する条例の適正運用の徹底										
課題解決のための取組	各職員が改正条例の正確な運用解釈を行えるように、運用指針、運用マニュアルを整備するとともに課内外と調整会議を重ねるなどに取り組んだ。								取組の結果	■解 決 □未解決	
未解決の課題	改正条例が施行され2年が経過し、改正時には想定していなかったケースが発生するなどにより条例等の整理をはかる必要がある。										
中事業の評価	適切＝○要改善＝△(2面「評価の視点」を参照)				①効率性 ○		②妥当性 ○		③有効性 ○		④公平性 ○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	「鎌倉市開発事業における手続き及び基準等に関する条例」の運用により、計画的な土地利用と市民参画によるまちづくりを進め、道路・公園等の公共公益施設の整備を図ることにより、災害に強く、市民福祉を高め、かつ環境保全に配慮した安全で快適なまちづくりの実現を目指す。								A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 → B		※□事業完了
評価者名				都市調整課担当課長				永野 英樹			

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の 視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
都市調整 運営事務	・「鎌倉市開発等における手続及び基準等に関する条例」を運用する。 ・開発事業等協議会を開催する。 ・墓地等の造営等に関する土地利用の協議を行う。 ・部内総務事務を行う。 ・開発事業等に係る公共施設管理者の同意及び協議による協定書の締結を行う。					○	○	○	○
	主 な 個 別 事 業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
		1033	事務補助嘱託員報酬 2人、同(開発等許認可指導) 1人	5,117	5,066	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		1033	事務補助嘱託員費用弁償	364	211	○	○	○	○
		1033	一般文具等消耗品費	506	424	○	○	○	○
		1033	神奈川県八市開発許可研究協議会負担金	10	10	○	○	○	○
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主 な 個 別 事 業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主 な 個 別 事 業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主 な 個 別 事 業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主 な 個 別 事 業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									